

# 日韓女流書家が交流書画展

日本と韓国の女流書家がサッカー・ワールドカップ(W杯)を記念し、九日から「韓日女流作家交流書画展示会」を港区南麻布の韓国文化院で開く。日本側から大阪府豊能町の小林芙蓉さん(本名・富美子さん)、韓国側からはソウルの陳末淑さんの作品が展示される。小林さんは、この展示会を機に日韓の親交がさらに深まればと話している。

## W杯記念して 9日から開催



小林芙蓉さん

書画は漢字を崩して絵のように書くもの。小林さんは約二十五年前から取り組み、国内外の展示会に出展してきた。陳さんもニューヨークや東京で個展を開いてきた。

今回の展示会は、日本に住む韓国・国立木浦大学校人文大学兼任教授で、両国の交流事業を進めている具末諤さん(新宿区)らが友好を図るため、イベントを企画した。

都内で展示会を開いたことがある陳さんと、韓国・光州で開催したことがある小林さんに書画の「共催」を呼びかけた。具さんは「地道な努力を重ねている作家二人の作品を見て、ワールドカップの前に韓日の和が広がれば」と話す。

展示会にはそれぞれの書画が三十点ずつ展示される。小林さんはボールやサッカーをイメージした「日韓親善」を表現した作品などを展示する。

十三日まで。港区南麻布の韓国文化院ギャラリーで。入場無料。問い合わせは同院(☎03・5476・4971)、実行委員会(☎03・3352・0610)まで。